

石原平左衛門

重美

仙臺

法家老中

同十九日北方に封境小砂川に付候在守清なる處出に
至し五十間修助へ山本登雲より楠英左郎小島
三九郎ト申者より毫封ノ書ヲ贈ル
為辨解一書相授汝等救日陋居屯集此苦勞
有及近日軍勢お抄に費し討入る部合にうみて可
當節お窺ひに少人数を對官軍一戦を難防し地

偏ニ人民之苦多に於け方も慷慨汝等主人酒井殿ニ
危窮及旦夕及るを伏願ふに私推察に及汝等
奉 天朝望も師致サレヨリ一旦及降参人民
困窮ヲ慮大功を顧細瑾にやうにて地快晴に
盡誠忠に成る要なる及能く及成彼に小砂川
出張に人数中合に方便者一同控へ旅館と早く可
仕るに越に巨細可及辨解書去成り安堵すに

奥羽鎮撫

副統督使節

同四月十九日

山本登雲より

庄内藩